

TOKYO DOME CITY



セントラルパークでは、水盤を撤去して芝生広場を設けることで動線を強化。芝生広場には間接照明として、曲線部に「LEDsカーブ」、直線部に「LEDsバー」を採用。芝生広場を囲むように全長122mのパークリボンビジョン(左上)やAaMoビジョン(右上)などが設けられている

(上) 東京ドームの人工地盤では温かみのあるベンチ下の間接照明が足元を照らしている
(下) JR水道橋駅東口からアクセスするルートでは、右のビルからスポットライトで通路の地明かりを確保し、植栽をライトアップしている

ランドスケープの刷新により 憩い、にぎわう空間を創出

株式会社東京ドームは2023年以降、「心が動く、心に残る。」体験の提供をまちづくりのテーマとして掲げ、段階的にリニューアルを実施している。ランドスケープリニューアルプロジェクトでは、来場者の非日常感の醸成や期待感の高揚、滞在快適性と回遊性の向上などを図ることで、まちの一体感を

魅力的な空間の創出を計画。東京ドームシティをまちの一部として、にぎわいと連続性をもたせるため、公道に面するフェンスの一部撤去により閉じていたエリアを開放。水盤があった場所を芝生広場にして人が集う場所にし、新たな店舗やファニチャーを点在させ、夜には間接照明で温かみのある空間とすることで、昼も夜も人が楽しく集う動線がデザインされた。

また、ショップ&レストラン、スパ、アトラクションの3つのゾーンが集結したエンターテインメント融合商業施設「ラクーア」の開業20周年に向けた最大規模のリニューアルや、吉本興業グループとの共同事業により新劇場「IMM THEATER」を建設。さらに、新たなランドスケープ計画に基づいた環境整備の一環として、東京ドームシティ内12カ所に大型ビジョンを設置。

各駅からのアプローチ動線や各広場空間に、多様なサイズ・形状の大型LEDビジョン・モニター群「東京ドームシティビジョンズ」を設置し、開催されるイベントとの連動や映像演出を行っている。とくに、全長122mのパークリボンビジョンは、隣接する芝生広場と合わせて、自然とデジタルが融合したユニークな空間を生み出している。これまでの屋外広告ビジョンは他メディアの

映像を流用しやすいように16:9の比率が主流だったが、ここでは、定型にとらわれずに各空間や建物に合わせた多様な形状のビジョンに挑戦。ランドスケープの刷新と大型ビジョンネットワークの導入により、滞在する快適性と、まちとしての一体感の向上が図られている。

TOKYO DOME CITY

■ランドスケープリニューアル
所在地/東京都文京区後楽
事業主/株式会社東京ドーム
マスターデザイン/株式会社ホシノアーキテクト
設計・施工/株式会社竹中工務店
電気工事/株式会社関電工
リニューアル竣工/2025年3月
規模/敷地面積:約114,120㎡

主な納入設備

- LEDスポットライト
- LED建築化照明器具
- 大型LEDビジョン
- LED投光器

東京ドームシティビジョンズ



25ゲート広場L型ビジョン:東京ドーム25ゲート前に設置された幅14.97m×高さ5.76mの大型L型ビジョン



22ゲート広場ビジョン:東京ドーム正面広場に位置し横長でインパクトのある湾曲型ビジョン



プリズムホール塔体ビジョン:JR水道橋駅と東京ドームを結ぶメイン動線上に設置された幅6.9m×高さ9.0mの大型ビジョン



ミーツポートビジョン:JR水道橋駅東口からの玄関口に位置する上・中・下段の3面で構成されたユニークなビジョン

IMM THEATER

東京ドームシティの滞在時間と回遊性を高めるエンターテインメント施設を光で演出

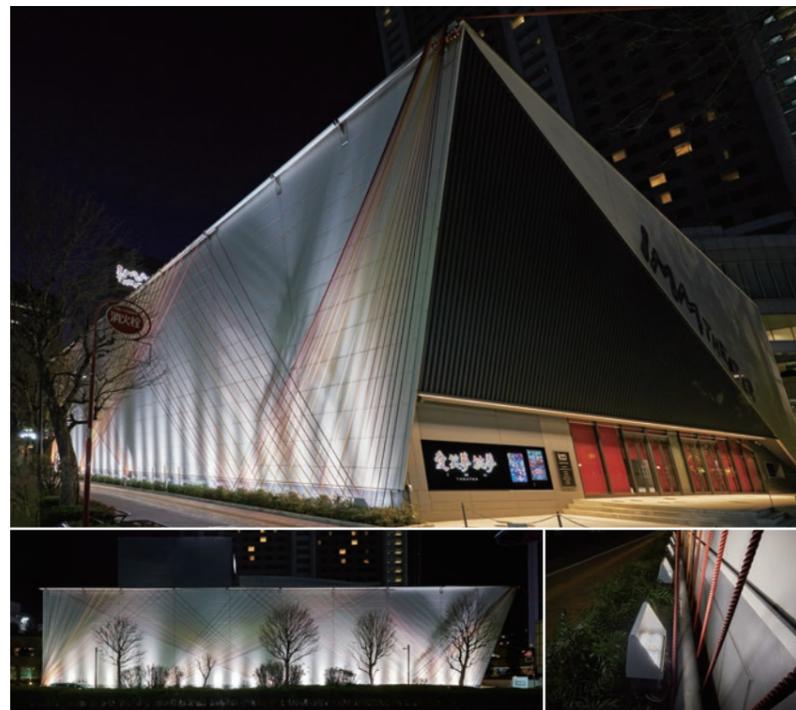
東京ドーム×吉本興業グループによる、「演劇と演芸」の新たな拠点となる700席規模の劇場。外装にカラフルなロープワークを採用し、グレア対策を施した特注フードをダイナペインターに組み合わせることでライトアップを行っている。

IMM THEATER

所在地/東京都文京区後楽
事業主/株式会社東京ドーム
設計・施工/株式会社竹中工務店
デザイン監修/株式会社ホシノアーキテツク
運営/株式会社LIVE FORWARD
電気工事/株式会社間電工
竣工/2023年11月
規模/延床面積:1762.49m²

主な納入設備

● LED投光器 ● 舞台照明 ● 音響設備



東京ドーム天然温泉 スパ ラクーア



(左上)スパ ラクーア9階の間接照明とダウンライトでくつろげる空間が演出された「ヒーリング パーデ」休憩ラウンジ (右上)9階「レントラ」の照度を抑えた専用ラウンジ
(左下)スパ ラクーア7階の「ランデブースクエア」のテラス越しに東京ドームが望める「R.S.BAR」 (右下)7階「ランデブースクエア」のテラスのフットボール

「水から広がる世界」を継承し
プライベートサウナも新設

東京ドームシティのエンターテインメント融合商業施設「ラクーア」が開業20周年を迎えてリニューアル。施設内の「スパ ラクーア」は、岩盤浴や低温サウナが楽しめる「ヒーリング パーデ」を拡充。また、今までにないラグジュアリー感あるプライベートサウナ「サウナラウンジ レントラ」を2023年4月に新設。デザインコンセプトは複合施設全体のテーマである「水から広がる世界」を継承。「ヒーリング パーデ」は霧・雫・虹・ダイヤモンドダスト、「レントラ」はコズミックをテーマに掲げ、柔らかな曲面と色彩や間接光により、各エリアのコンセプトを表現している。とくに新施設「レントラ」ではダークな色彩と照度を抑えた演出照明により宇宙を連想させる空間が作り出されている。

主な納入設備

● LED建築化照明 ● LEDダウンライト



スパ ラクーア

■施設リニューアル
所在地/東京都文京区後楽
事業主/株式会社東京ドーム
設計/株式会社竹中工務店
内装設計協力/Ken design lab
デザインアドバイス/tomarc
電気工事/株式会社間電工
開業/2023年3月



9階「彩空殿」の雲や虹をイメージした空間



9階「ヒーリング パーデ」のカフェの奥につくられた休憩ラウンジ